

研究・調査報告書

報告書番号	担当
155	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名（原題／訳）	
<p>Binge drinking and alcohol-related behaviours amongst Pacific youth: a national survey of secondary school students 太平洋の若者における短時間での大量の飲酒とアルコール関連行動：中等学校の生徒の全国調査</p>	
執筆者	
Teevale T, Robinson E, Duffy S, Utter J, Nosa V, Clark T, Sheridan J, Ameratunga S.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
N Z Med J. 2012 Mar 30;125(1352):60-70.	
キーワード	
飲酒、中等学校、若者、太平洋、スポーツ	
要 旨	
<p>目的： 先行研究により、太平洋の若者は非飲酒もしくは機会飲酒者と飲酒時に一気飲みなどの激しい飲み方をする者とで二極化することが示されている。本研究の目的はアルコール関連行動のリスクと保護プロファイルを明らかにするため、二つのタイプの太平洋の飲酒者の人口統計学的要因、文化的要因、家庭、近隣環境を記述することである。</p> <p>方法： データは全国的な代表調査であるニュージーランドの若者の健康と福祉、Youth'07 の一部から集められた。サモア人、クック諸島、トンガ人、ニウエ、フィジー人、その他太平洋の人々と同定された民族、1,190名の太平洋の生徒が含まれた。</p> <p>結果： データには 974名の生徒が利用され、31.6%が激しい飲み方をする者であった。若くて親の太平洋地域の言語を家で使用している生徒は他の生徒よりも激しい飲み方をする者が少ない傾向であった。放課後および夜の若い人々の行動についての両親の知識は保護的に作用する一方、スポーツチームまたはスポーツクラブへの参加は激しい飲み方のリスク上昇と関連した。</p> <p>結論： 本研究は、健康を保護するような伝統的な文化的実践を持ち、維持しているニュージーランドで太平洋地域の多国籍での特質を示した。スポーツ活動への参加は健康に有益かもしれない一方、政策決定者とスポーツの分野で激しい飲み方をすることに関連するリスクに対処する積極的な取り組みが必要であることを示した。太平洋の若いニュージーランド人への正常ではないアルコールの過剰摂取に対する介入は正当である。</p>	